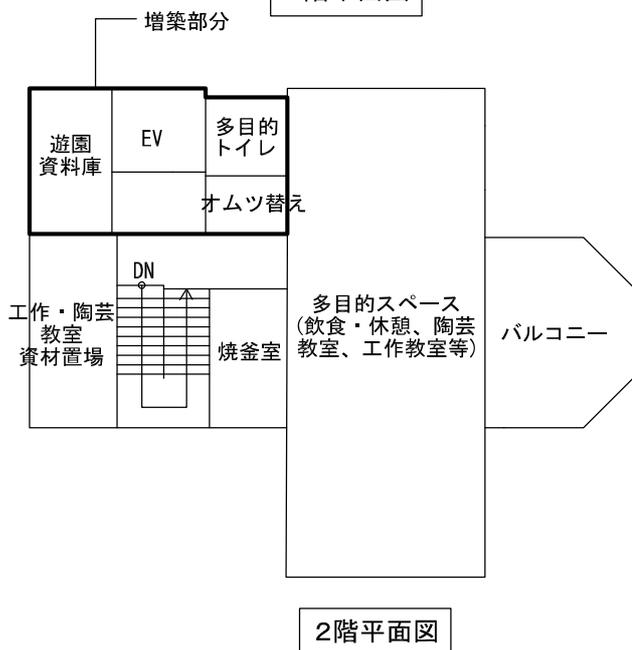
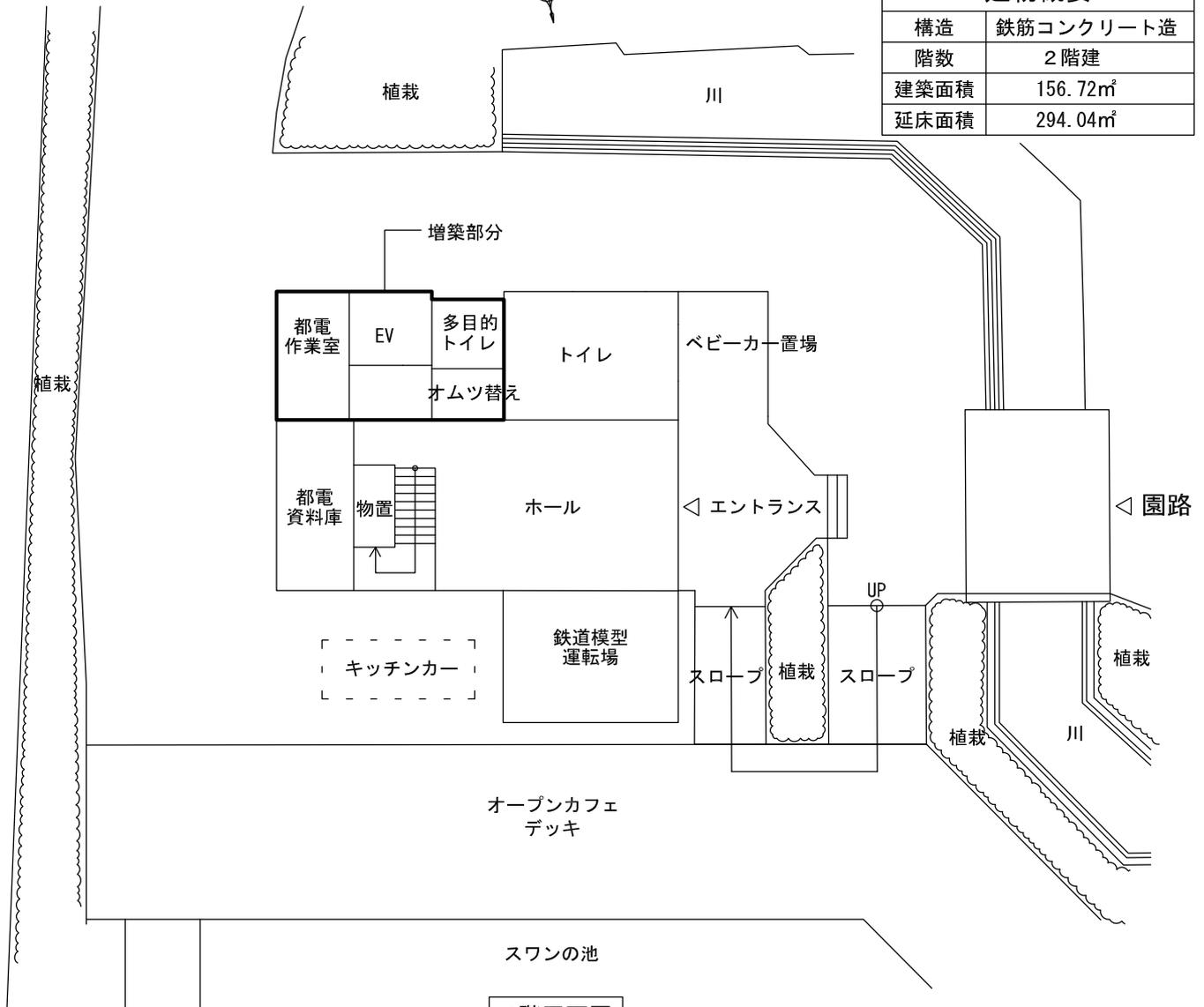


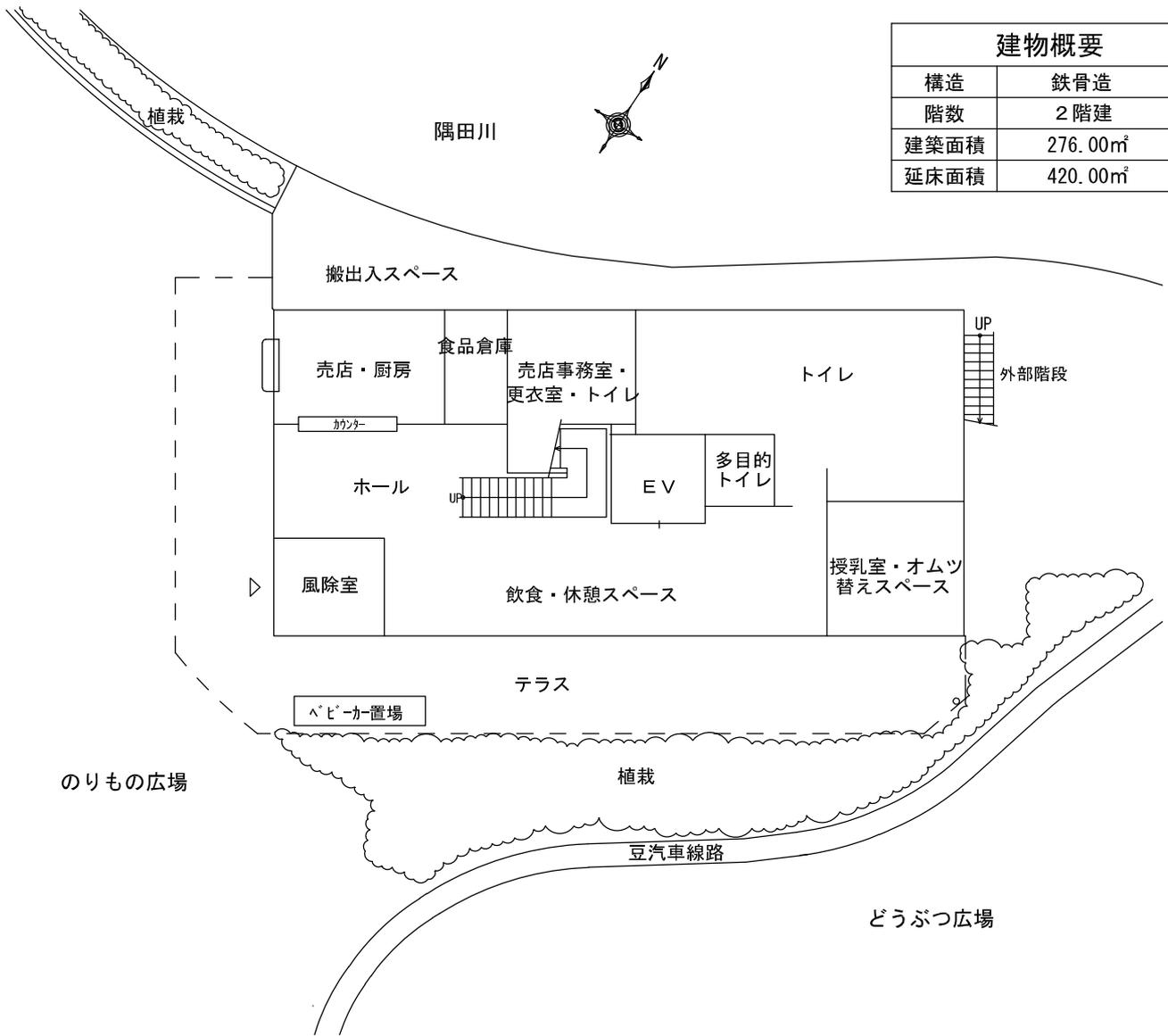
(1) ふれあいハウス増改修設計
(新名称案: チャレンジハウス)

建物概要	
構造	鉄筋コンクリート造
階数	2階建
建築面積	156.72㎡
延床面積	294.04㎡

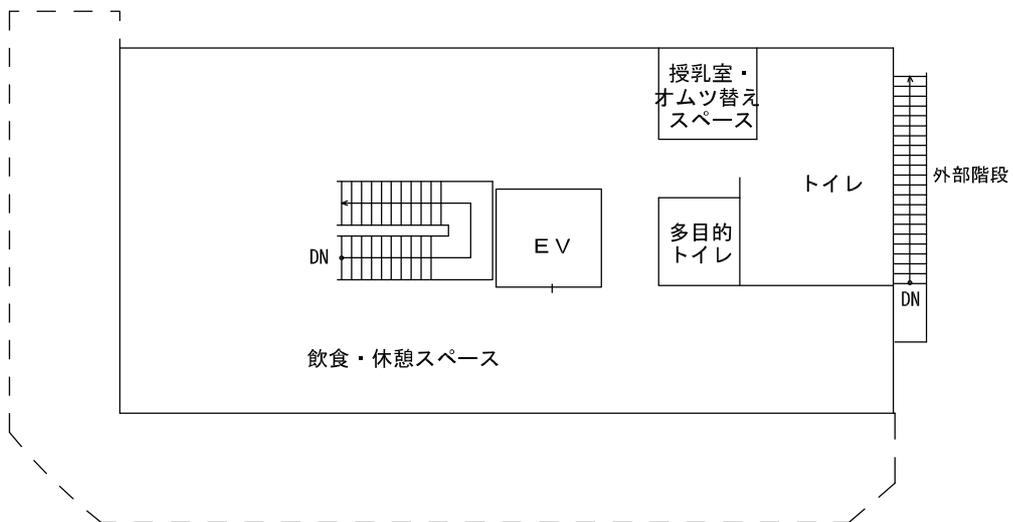


(2) キャンディハウス建て替え設計
(新名称案: もぐもぐハウス)

建物概要	
構造	鉄骨造
階数	2階建
建築面積	276.00㎡
延床面積	420.00㎡



1階平面図

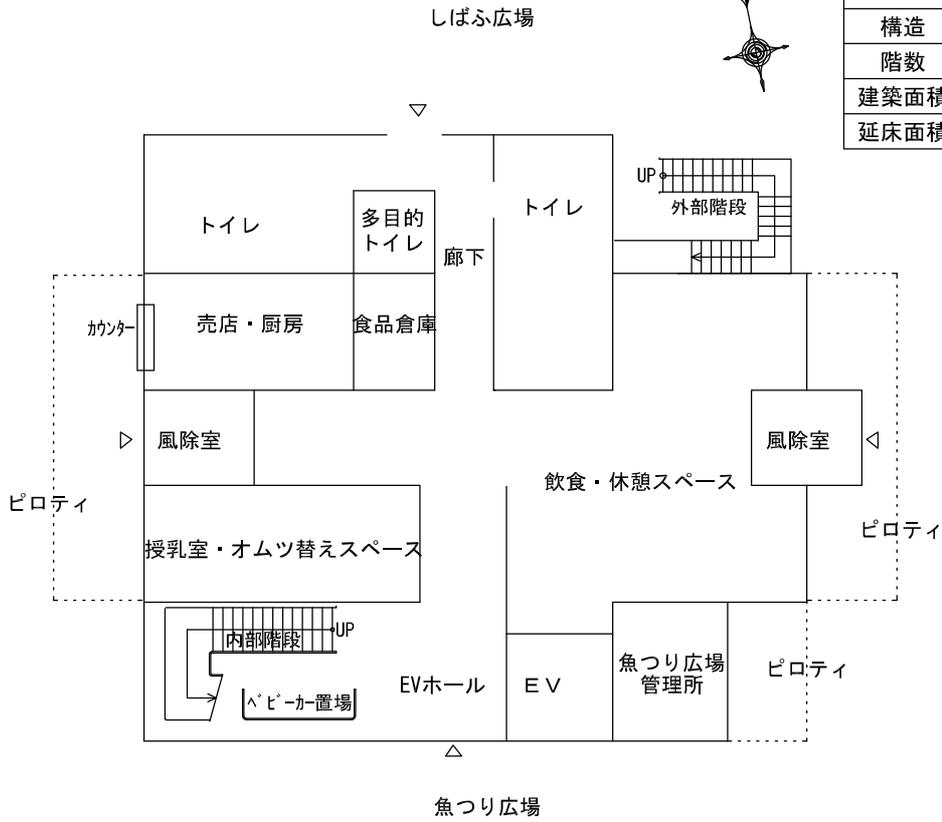


2階平面図

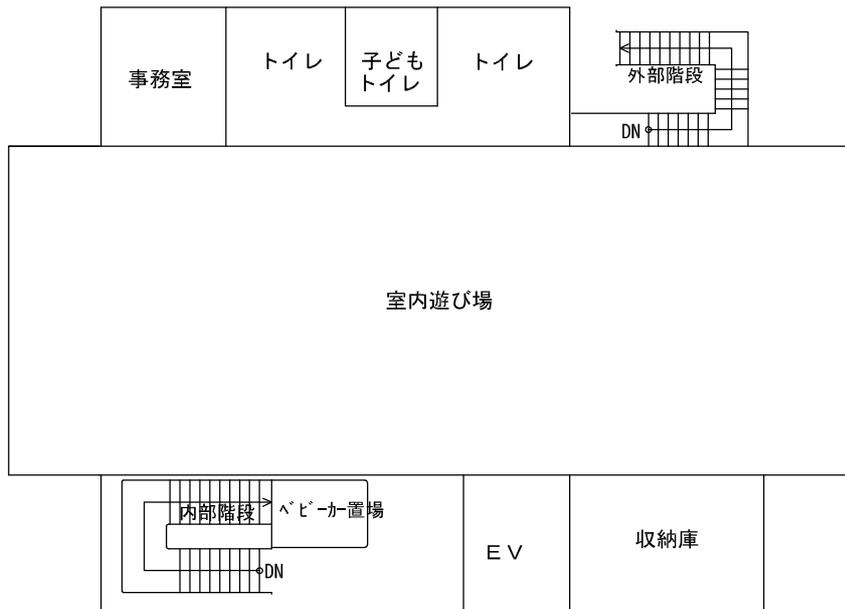
(3) 新設建物設計
(新名称案：わくわくハウス)



建物概要	
構造	鉄骨造
階数	2階建
建築面積	328.26㎡
延床面積	652.03㎡



1階平面図



2階平面図

荒川遊園 A 地区の改修設計案について

のりもの広場

のりもの広場の各大型遊具の前面には、ロングパイル人工芝による休憩広場を設ける。休憩広場は繁忙期に行列を処理する滞留広場として利用するとともに、広場内にミストを仕込むことにより熱射病対策を行う。広場外周部にはウォールベンチ(照明付き)や季節の演出を行うための花壇も併せて設置する。
また、施設の乗降部や外周部はゴムチップ舗装とし安全性を確保するとともに、のりもので子どもが楽しんでいる姿を保護者が快適に見守れる舗装とする。

水あそび広場

水あそび広場の落差部(水色部分)のかさ上げを行い流れ部との段差の解消をおこなった上でふれあいハウス側を階段状とし安全に水にアクセスできるようにする。
流れ周辺の植栽の整理を行うことにより、空間的に明るく、見通しが効く安心・安全な空間整備を行う。

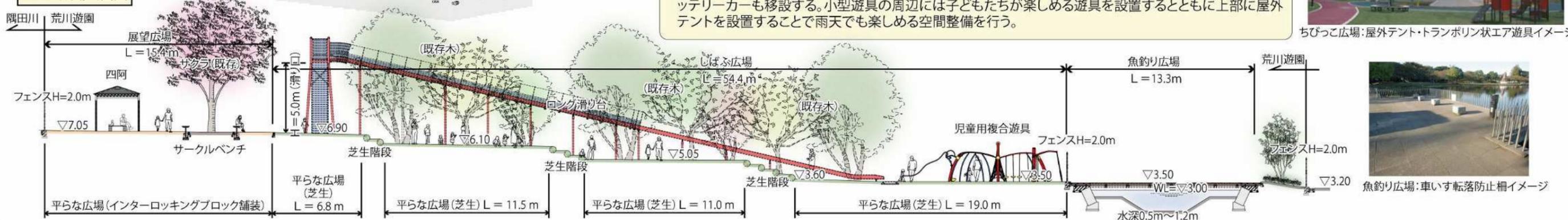
レールウェイ園路

都電のレールをイメージさせるレールウェイ園路とするとともに、レールの間をゴムチップ舗装とし、歩きやすい歩行者空間を整備する。
B・C地区と同じ舗装パターンとし、B・C地区から荒川遊園、アリスの広場までの空間を連続性のある空間とする。

水上デッキカフェと一球さん号

スワンの池上部に水上デッキとなるよう張り出しのデッキを整備する。
水上デッキは、一球さん号と連携し、オープンカフェ空間として利用できる設えとする。
一球さん号を休憩・食事スペースとして活用可能な施設へと改修するとともに、プラットホームを整備する。停留場に停車しているような設えとすることで、インスタ映えする空間整備を行うとともに、夜間はライトアップにより夜の演出を行う。

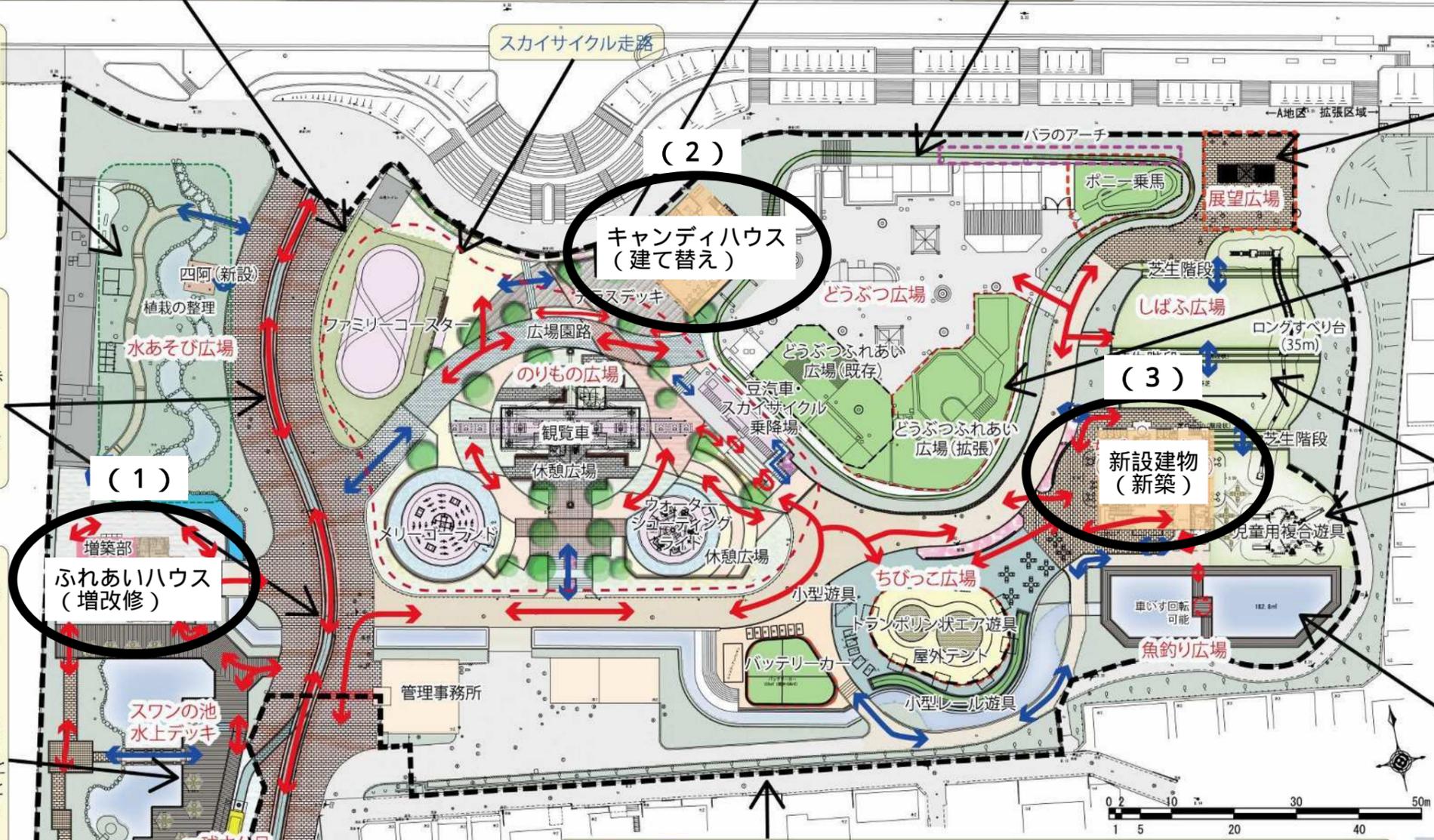
しばふ広場断面図



テラスデッキ
キャンディハウスの前に屋外で飲食が楽しめるテラスデッキを整備

花壇を示す。
植栽地を示す。

↔ バリアフリー動線
↔ 利用者動線
--- 有料区域



展望広場
サークルベンチ・四阿等を設置し、木陰のある快適な休憩スペースを確保する。

どうぶつふれあい広場(拡張)
バードケージを撤去し、どうぶつふれあい広場として拡張整備する。あわせて、豆汽車からふれあい広場を見やすく改修を行う。

しばふ広場
休憩・食事場所として利用しやすくするため、ひな壇状に造成を行い、平らな広場面を確保するとともにしばふ広場の拡張を行う。
また、無料で楽しめる施設として高低差を活かしたロング滑り台や児童用複合遊具など一般の公園にはない遊具の設置もあわせて行う。
既存しばふ広場面積: 1,300㎡
改修後しばふ広場面積: 1,675㎡

魚釣り広場
中央デッキ部分に車いす用エリアを確保し、バリアフリーを促進するとともに、水深を浅くし、子どもたちが安全に楽しめるよう、改修を行う。
既存水面面積(デッキ含む): 825㎡
改修後水面面積(デッキ含む): 470㎡

ちびっこ広場
ちびっこ広場は、平坦な広場部を南東側へ拡張して整備する。既存のちびっこ売店、トイレ、釣り堀管理所は魚釣り広場に統合し、広がりのある空間とする。
ちびっこ広場にのりもの広場内の小型遊具を人気のある施設にしばった上で移設を行い、あわせてバッテリーカーも移設する。小型遊具の周辺には子どもたちが楽しめる遊具を設置するとともに上部に屋外テントを設置することで雨天でも楽しめる空間整備を行う。

